



防災訓練 (2014. 3. 11) のお知らせ

「あの日を忘れない! いざという時のために備えましょう」

東日本大震災からまもなく3年が経とうとしていますが、あの時のことを忘れず、さらなる災害に備えるため、来る3月11日(火)に下記の訓練を計画しています。平日ではございますが、無理のない範囲でご参加くださいますようお願いいたします。

訓練その1. 断水を想定した生活体験 (各家庭で)

「自分の命は自分で守る」ために、命に大切な水の備蓄を再確認するとともに、断水を想定した生活体験を各家庭にて行うことにしました。

東日本大震災の時には、電気、通信、水道等のライフラインの停止やガソリンの不足などがあり、皆様もいろいろ大変な経験をされたことと思います。

災害はいつ発生するか予測は困難なため、災害に対し常に備えておくことが大切です。

① 飲料水は1日一人3リットル必要として3日分が人数分あるか確認する。

例 2人家族の場合 3リットル×3日×2人=18リットル (2リットル入りペットボトルで9本)

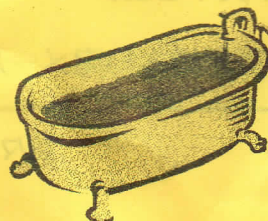
② 飲料水は保存期限を過ぎていないか確認する。

③ 飲料水はペットボトルの保存水等 (または前日用意した水道水) を使用して1日3リットルで生活してみる。 ※ただし健康上支障のある方は、決して無理をなさらないでください。

④ 調理等も極力水を使用しなくてよいもので済ませる。(缶詰、レトルト食品等を活用)

⑤ 生活も極力水を使用しなくて済むように工夫して生活してみる。(お皿は洗わなくても良いようにラップを敷いて使ったり、お箸も割り箸を使ったりしてみる。)

⑥ 生活用水はお風呂のため置きの水等を使って生活してみる。(洗顔、手洗い、トイレの流し水、洗濯など)



→ 裏面につづく

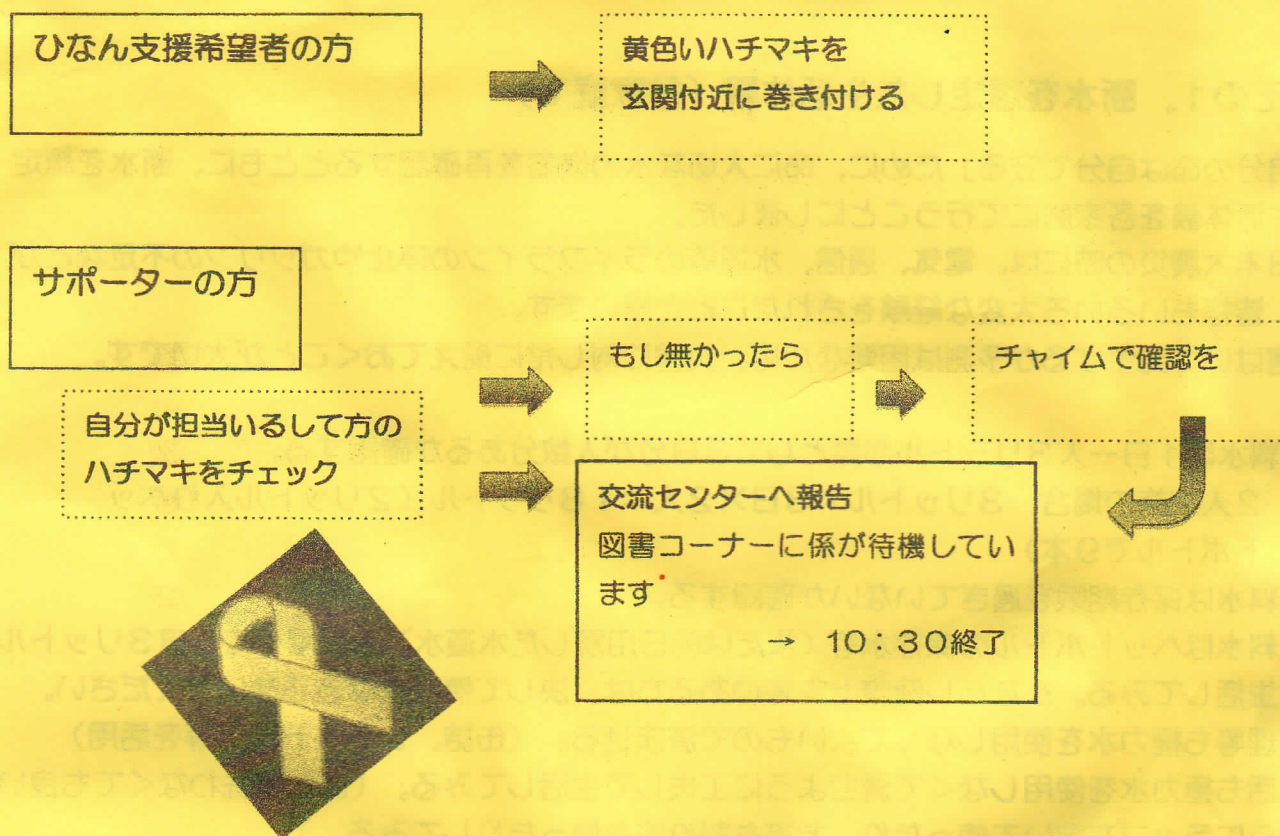
訓練その2. ひなん支援希望者の安否確認（ひなん支援希望者とサポーターで）

「我々の街桜ニュータウンは住民みんなで守る」を合い言葉に、地域や近隣の人が互いに協力し合うことにより、地域の被害を軽減することを目指します。

今回は、ひなん支援を希望されている方に自身の安全を示す「黄色いハチマキ」を掲示してもらい、ひなん支援サポーターが掲示状況を確認する訓練を行います。今回は平日を想定した訓練ですので、仕事を休まれたりする必要はありません。通常的生活をして頂いて結構です。

<訓練内容>

3月11日（火）午前10時00分 → 地震が発生したと仮定します



桜ニュータウンの防災員として、あなたを必要としています！

※防災員としてご協力いただける方は、下記宛にお名前と班名、メールアドレス（あれば）をご連絡いただきますようお願いいたします。

（連絡先）林防災長（中央13班）

または 自主防災組織本部宛メール snt_bosaihq@smacon.info